

第28号

ゆうあい

【発行】



社会福祉法人友愛会
広報委員会

群馬県高崎市寺尾町2120-2

国立のぞみの園内

TEL027-386-6030

FAX027-386-6033

E-mail yuikai@smile.ocn.ne.jp

URL:http://www.yuikai.net



光洋愛成園利用者自治会新年会

高崎市 ホワイティン高崎にて

目次

- 2ページ 友愛会のページ
- 3ページ 友愛会のページ
- 4ページ 光洋愛成園のページ
- 5ページ ワークセンターさくらのページ
- 6ページ サポートセンターゆうあいのページ
- 7ページ 平成25年度友愛会財務報告
- 8ページ ご寄附ご協力ありがとうございます



福島県広野町の施設建設予定地。この道路の向かって右側に光洋愛成園、左側にワークセンターさくらを建設します。



輝ける明日に向かって



社会福祉法人友愛会

理事長 林 久美子

人はよくどん底に陥った時、「明けない夜はない」とか、「努力して待てば必ず朝日を迎える日が来る」とか言います。最近、我が社会福祉法人友愛会にもかすかに朝の光が差し込んできたように思われます。

この度、友愛会は、災害以前に富岡町にあった全施設及びグループホーム（光洋愛成園、ワークセンターさくら、サポートセンターゆうあい・本町ホーム、さくらホーム、つばさホーム、のぞみホーム、ゆうゆうホーム）のすべてを、双葉郡広野町に新設移転することになりました。施設を建設するための土地も求めることができ、各施設の設計図もできあがりしました。建物を造る建設業者も決まり、去る2月12日に起工式も滞りなく済ませることができ、まず基盤を整備できました。帰還に向けて確実に一歩前進です。

ここまで来るのに長い時間と大変な労力を費やしました。幾度も計画を立て直し、国、県、関係各位から多くの指導、助言

を受けながら、建設資金の確保、施設設計図の完成、試行錯誤を繰り返した友愛会の全職員の苦勞と努力は言うに及ばず、友愛会役員の慎重審議を重ねた結果であることは如実知見であり、頭の下がる思いです。今、私は、利用者の皆様、保護者の皆様、ここに至るまでご尽力を頂いたすべての皆様にこのことを報告できますことに、筆で書き尽くすことのできない無上の喜びを感じています。

災害から4年の月日が過ぎます。その長い歳月をいつも変わることなく物心両面、温かく援助いただいている国立のぞみの園様には「深く感謝申し上げます」以外の言葉は見つかりません。誠にありがたい限りで心より御礼を申し上げる次第です。

帰還まではまだまだ時間がかかり、多くの苦勞もあると思います。友愛会はみんな力で合わせ、心一つにして、明日に向かって一歩ずつ前進して行きます。

ふるさとで生活したい



社会福祉法人友愛会

事務局長 寺島 利文

(光洋愛成園施設長)

東日本大震災（原発事故）が発生した翌日から避難生活を余儀なくされ、まもなく4年も過ぎようとしています。一時は全く先の見えない中でした。利用者から「福島にいつ帰るの：」と何度聞かれたことか。率直な訴えだったと思います。

当法人では、震災から1年後に「福島帰還に向けてのロードマップ」を作成しました。ふるさと・富岡町への帰還は余りにも時間が掛かると判断し、同じ郡内の広野町への帰還を選択して、全事業所が一緒に平成27年度内（平成28年3月）の帰還で進めることとしました。

それから3年、避難生活に流された運営にならないよう今を大切にしつつ、事業所新設用地（3ヶ所約25000㎡・購入及び借用）の確保から始まり、建設費の激しい高騰による資金計画等々、帰還に当たってのハードルの高さに大変苦慮しながらの作業でした。

こうした中、先般2月吉日に、

多くの関係者にご出席頂き、建設工事の安全を祈願して起工式を執り行うことができました。事業所については、前号にも寄稿しましたが、光洋愛成園（入所・40名）、ワークセンターさくら（通所・30名）、サポートセンターゆうあい（相談支援事業所兼グループホーム5棟・29名）の大小7棟を新設し、それぞれ以前に行っていた短期入所事業や日中一時支援事業も行うことになっています。

関係各位には引き続きのご支援をお願いし、利用者のふるさとで生活したい思いを早く具現化できるよう一層努めたいと思います。

尚、光洋愛成園では、日中活動で行っている桜染めの絹製品が、世界遺産に登録された富岡製糸場（群馬県富岡市）の売店に先般出荷でき、利用者の大きな励みとなっています。



☆友愛会☆

友愛会事業所新設起工式

2月12日、福島県双葉郡広野町の光洋愛成園、ワークセンターさくらの建設予定地において関係各位のご出席を頂き、建設工事の無事な竣工を祈願する起工式が執り行われました。

神事に続いて、友愛会林久美子理事長より避難から今日まで国、福島県、広野町、富岡町、地主の皆様等々、多くの皆様方のご支援を頂いて起工式を行うことができたことの御礼の挨拶がありました。また、衆議院議員吉野正芳様をはじめ来賓の皆様方から祝辞を頂戴しました。

一年後の平成28年春の竣工及び帰還に向けて、いよいよ建物の建設が始まります。



公用車寄贈

8月6日、社会福祉法人読売光と愛の事業団様（東京都千代田区）より、光洋愛成園にトヨタ「ノア」（四輪駆動仕様）が寄贈されました。読売光と愛の事業団様からは、昨年のサポートセンターゆうあいに続いての車輛の寄贈となります。

原発事故による避難に伴い、当法人でも全部で10台の車輛の持ち出しができずに遺棄しました。帰還すれば送迎、通院、外出等でフル稼働するため、公用車の寄贈はとても有難いことです。また、昨年の大雪を経験して、四輪駆動の公用車の必要性を強く感じていたところであり、読売光と愛の事業団様のご厚意に心より感謝を申し上げます。



全国手をつなぐ育成会島根大会

本人活動の会「びいす」で活動しているワークセンターさくらの岩間英行さんが、9月26日から28日の3日間、全国手をつなぐ育成会島根大会本人大会で、「将来の夢」について発表しました。

故郷を離れ避難生活を余儀なくされているものの、ここ高崎にいるからこそできることを実現させました。福祉専門学校に通い試験勉強を頑張り、念願の介護初任者（旧ヘルパー2級）を取得しました。いつか福島に帰ったら福祉の仕事がしたいと、休日には法人内の障害者支援施設「光洋愛成園」でボランティアを続けています。この苦しい環境の中でもポジティブに頑張っていることを、堂々と全国の皆さんの前で発表できたことは大きな自信につながったと思います。会場には懐かしい福島の仲間たちや全国大会でなじみの仲間の応援もあり、緊張もほぐれ心強かったです。また、ご両親を今大会にご招待し親孝行もできたようです。時間はあまりなかったのですが、松江城見学や出雲大社に参拝し観光も楽しめました。ご縁の国島根県で、また、たくさんの方の仲間と出会えた大会でした。



☆光洋愛成園☆

光洋愛成園の現況について



生活支援員 森川 創太

群馬県高崎市での避難生活も約4年の月日が経とうとしています。利用者の皆さんや職員一同、高崎市での生活にも慣れてきました。福島県が恋しく、辛い避難生活の中にもそれぞれが楽しみを見つけ、「高崎に居るからできる支援」を目標に掲げ、明るく前向きに日々を過ごしております。

光洋愛成園では「歩行」、「工房さくら」を中心に日中活動に励んでおります。時にはラフターヨガやアロマテラピーを通して、リフレッシュを図り、体力作りや健康維持を目的に取り組んでいます。

余暇活動では皆さんが最も楽しみとしている「バス外出」を中心にお茶会やDVD鑑賞等楽しんで頂いております。また、毎年恒例の行事や定期的な外出では、普段見せない様な輝かしい笑顔を見せています。

当法人が平成28年3月に福島県双葉郡広野町へ帰還することとなり、職員一同結束した支援をしています。あと約1年間、利用者の皆さんに「高崎に居るからできる支援」を精一杯行つて行きたいと思っております。



ハンドマッサージ

社会見学旅行 山梨方面



行事・日中活動紹介



今年の社会見学旅行は、1班と2班に分かれ山梨方面、富士山五合目と山中湖周辺へ出かけました。富士の絶景を目の当たりにすることができ、山中湖では水陸両用バス「KABA」に乗りました。郷土料理の「ほうとう鍋」も食べ、旅行気分を満喫してきました。

ヤクルト購入



月に一度、ヤクルト商品を配達して頂き、利用者さんが好きな飲み物を購入しています。普段の自販機購入とは違った楽しみとなっています。

お楽しみおやつ



毎週火曜日に、職員と利用者さんで手作りおやつを作っています。創作おやつもあり、どんなおやつが出るのか利用者さんも毎週楽しみにしています。

買物外出



本人の希望する物を購入する為、高崎市内に外出しています。積極的に買物カゴを持つ等、皆さん張り切って買物を楽しんでいました。

歩行



寒さが厳しくなってくると、当園では寮内での歩行を行います。外歩行はできなくても、他者と手を繋いで一生懸命歩いている姿が見受けられます。

☆ワークセンターさくら☆

ワークセンターさくらの現況について



サービス管理責任者

秋元 俊成

早いもので福島から避難をして5度目の春を迎えることになりました。利用者さん達も生活環境が大きく変わりながらも作業に励み毎日を楽しんで過ごしています。作業の内容も大都市の環境もあつてか充実しており、内職作業はホッチキス針の箱詰めやボールペンの組み立てなどを中心とした作業に取り組んでおり、加工みその生産では地域の方々からの協力を頂き少しずつですが、売り上げも上がっている状況です。また、インターネットを活用することとで山形県や宮城県、南は宮崎県にまで発送することもあり、今後ワークセンターさくらの加工みそが日本全国で販売されるように大きな目標を目指して利用者、職員一同一緒に頑張って毎日頑張って製造しております。

日常生活では利用者の希望や要望を取り入れて工夫をしながら、行事や外出を行っており、一段と笑顔も多く見られています。

福島の帰還の時期もようやくはっきりと決まったことで、利用者さん達も福島の帰還を楽しみにしながら日々の生活や作業に励んでいます。

日中活動・行事紹介

社会見学旅行



10月2・3日、社会見学旅行で東京スカイツリー見学やぶどう狩り、山中湖で水陸両用バスに乗ったりと、二日間たくさん場所を巡ることができ、楽しい旅行となりました。



味噌加工・内職作業



日中活動のみそ加工と内職作業の様子です。作業中は皆さん集中してしっかり行っています。

グループ外出



2月26日、外出支援で高崎市少年科学館へ行き、プラネタリウムを見てきました。午後からは渋川市のスカイテルメ渋川で昼食と温泉に入り、日頃の疲れを癒してきました。

新年会・還暦祝い



1月24日、食堂にて新年会・還暦祝いを行いました。今年は館下鉄男さん、菊地紀雄さんが還暦を迎え、みんなでお祝いしました。とてもボリュームのあるお弁当を食べた後はカラオケも行い、とても盛り上がりました。



玉澤雅晃さん入所



よろしく
お願いします!

2月7日、玉澤雅晃さんが入所しました。以前ワークセンターさくらにいたことや本人の明るい性格もあり、みんなとすぐに打ち解け、楽しく過ごしています。

五度目の春を迎えて

サービス管理責任者

作田 律子



生活介護事業所「リジョイスとみおか」の高崎市での活動も四年目となり、音楽療法やラフターヨガの講師の先生たちとは友達のように仲良くなりましたし、健康のための歩行も回数を重ね、迷う程に広がった国立のぞみの園の敷地も勝手知ったる我が家の庭となりました。身体を動かすことの楽しさを知り、最近ダンスを楽しむようにもなりました。こちらで始めた内職作業にも熟練して、自信を持って行えるようになりました。

一方生活の場である「サポートセンターゆうあい」では、四年間続いている毎月恒例の外出のおかげで高崎周辺の美味しい食べ物屋さんや遊ぶ場所にとっても詳しくなりましたし、季節の行事を皆で楽しみ、おやつ作りも上手になりました。大勢で暮らすことの良いところ不便なところ色々経験して、我慢することや助け合うことも上手になりました。

来年は福島に帰還します。元通りの暮らしではない、新たな場所での新たな暮らしが始まります。不安は尽きないけれど、一人ひとりどのように暮らして行くのか、共に考え、描いて、準備を進めて行きたいと思っています。

日中活動・リジョイスとみおか

リジョイスとみおかの日中活動では内職作業を始め、音楽療法やラフターヨガ、歩行の他に新たにダンスの時間を設けミッキーマウスマーチを踊っています。簡単な動きと聞いたことのある曲でみなさん楽しく体を動かしています。他にも不思議な粘土砂を使って色々な物を作っています。



1月15日、高崎市のニューサンピアで新年会を行いました。豪華な食事と大好きなカラオケやゲームなどを楽しみました。今年度も明るく元気に頑張ります。

外出支援では少人数で本人さん達の希望に沿うように、美味しいお店や色々な所へ毎月出かけています。高崎を満喫しています。



鎌倉バスツアーに参加し、鶴岡八幡宮をはじめ鎌倉散策してきました。美味しい物をたくさん食べてリフレッシュしてきました。



★社会見学旅行★

リジョイスとみおかの社会見学旅行はコース別で出かけてきました。一泊班は黒部溪谷とトロコ電車に乗ってきました。日帰り班は東京湾クルーズを楽しんできました。



神奈川県本人会交流会



奈良崎真弓さんが来所し、交流会が行われました。福島に帰ったら「どんな暮らしがしたい?」と、参加者全員が分かりやすいカードを活用して楽しい交流会が行われました。

双葉地方地域自立支援協議会 ほんにん部会

自分たちの今思うこと等、活発な意見や色々な考えを話し合っています。広報誌の取り組みもしており、高橋和恵さんが広報誌作りの編集を担当し頑張っています。



平成25年度社会福祉法人友愛会財務報告

※ホームページでも公開しています。

【貸借対照表】 (平成26年3月31日現在)			
資産の部			
	合計	一般会計	就労支援会計
流動資産	506,705,554	465,129,158	41,576,396
固定資産	720,990,359	638,793,398	82,196,961
資産の部合計	1,227,695,913	1,103,922,556	123,773,357
負債の部			
	合計	一般会計	就労支援会計
流動負債	29,562,981	27,697,809	1,865,172
固定負債	25,350,323	18,543,414	6,806,909
負債の部合計	54,913,304	46,241,223	8,672,081
純資産の部			
	合計	一般会計	就労支援会計
基本金	118,438,527	118,438,527	0
国庫補助金等特別積立金	141,054,163	139,942,911	1,111,252
その他の積立金	323,634,033	273,484,033	50,150,000
次期繰越活動収支差額	589,655,886	525,815,862	63,840,024
純資産の部合計	1,172,782,609	1,057,681,333	115,101,276
負債及び純資産の部合計	1,227,695,913	1,103,922,556	123,773,357
【事業活動収支計算書】 (自平成25年4月1日 至平成26年3月31日)			
勘定科目	合計	一般会計	就労支援会計
就労支援事業収入計(1)	2,302,302	0	2,302,302
就労支援事業支出計(2)	1,885,922	0	1,885,922
就労支援事業活動収支差額(3)=(1)-(2)	416,380	0	416,380
福祉事業活動収入計(4)	666,768,594	622,115,388	44,653,206
福祉事業活動支出計(5)	288,167,185	224,440,379	63,726,806
福祉事業活動収支差額(6)=(5)-(4)	378,601,409	397,675,009	△ 19,073,600
事業活動外収入計(7)	86,117,111	68,099,994	18,017,117
事業活動外支出計(8)	86,000,000	86,000,000	0
事業活動外収支差額(9)=(7)-(8)	117,111	△ 17,900,006	18,017,117
経常収支差額(10)=(3)+(6)+(9)	379,134,900	379,775,003	△ 640,103
特別収入計(11)	2,300,000	2,300,000	0
特別支出計(12)	0	0	0
特別収支差額(13)=(11)-(12)	2,300,000	2,300,000	0
当期活動収支差額(14)=(10)+(13)	381,434,900	382,075,003	△ 640,103
前期繰越活動収支差額(15)	208,220,986	143,740,859	64,480,127
当期末繰越活動収支差額(16)=(14)+(15)	589,655,886	525,815,862	63,840,024
その他の積立金取崩額(17)	0	0	0
その他の積立金積立額(18)	0	0	0
次期繰越活動収支差額(19)=(16)+(17)-(18)	589,655,886	525,815,862	63,840,024
【資金収支計算書】 (自平成25年4月1日 至平成26年3月31日)			
勘定科目	合計	一般会計	就労支援会計
就労支援事業収入計(1)	2,302,302	0	2,302,302
就労支援事業支出計(2)	2,047,188	0	2,047,188
就労支援事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	255,114	0	255,114
福祉事業活動収入計(4)	744,730,577	682,811,920	61,918,657
福祉事業活動支出計(5)	350,706,509	292,121,313	58,585,196
福祉活動資金収支差額(6)=(4)-(5)	394,024,068	390,690,607	3,333,461
施設整備等収入計(7)	2,300,000	2,300,000	0
施設整備等支出計(8)	76,750,165	76,750,165	0
施設整備等資金収支差額(9)=(7)-(8)	△ 74,450,165	△ 74,450,165	0
財務収入計(10)	106,514	106,514	0
財務支出計(11)	2,117,126	1,597,982	519,144
財務活動資金収支差額(12)=(10)-(11)	△ 2,010,612	△ 1,491,468	△ 519,144
当期活動資金収支差額合計(13)=(3)+(6)+(9)+(12)	317,818,405	314,748,974	3,069,431
前期末支払資金残高(14)	158,950,385	122,682,375	36,268,010
当期末支払資金残高(15)=(13)+(14)	476,768,790	437,431,349	39,337,441

皆様の温かい「寄附・」協力 ありがとうございます

(平成26年6月～平成27年2月分 順不同)

- ・ 独立行政法人国立重度知的障害者総合施設のぞみの園様
- ・ 社会福祉法人読売光と愛の事業団様
- ・ 社会福祉法人はるな郷様
- ・ (株)アド・リブ様
- ・ 日産労連NPOセンター様
- ・ 青葉メゾン様
- ・ 青葉メゾン保護者会様
- ・ 青葉メゾン・奈良地域ケア
- ・ ラザ祭り実行委員会様
- ・ 梅檀会様
- ・ 太白ウインドアンサンブル様
- ・ 前橋市社会福祉協議会ボランティアセンター様
- ・ JR東日本旅客鉄道労働組合 高崎地方本部様
- ・ 高崎平和フォーラム様
- ・ 群馬県ボランティア連絡協議会中部ブロックボランティア連絡会様
- ・ 高崎アコーディオンサークル様
- ・ ロゴス腹話術研究会様 (森昭夫・真由美、笠原貞夫様)
- ・ 福島県知的障害施設協会様
- ・ 葉王院様
- ・ 荒瀬印刷(株)様
- ・ 小林勇様・マサエ様
- ・ 飯塚嬉恵様
- ・ 山本佐紀子様
- ・ 清水彊様
- ・ 小谷野肇様
- ・ 寺島洋様
- ・ 寺島潤様
- ・ 佐藤智久代様
- ・ 石川理恵様
- ・ 佐藤悦美様
- ・ 坂本祐美様
- ・ 広田さつき様



11月に日産労連による劇団四季クリスマスチャリティー公演、ミュージカル「ふたりのロッセ」の招待があり、初めてミュージカルを鑑賞しました。



ロゴス腹話術研究会の訪問ありがとうございます

「招待」協力ありがとうございます

10月26日、国立のぞみの園文化センターで社会福祉法人読売光と愛の事業団&日本声楽家協会による東日本大震災復興支援「光と愛のコンサート」が開催され、のぞみの園の皆さんと共に鑑賞しました。

光と愛のコンサート



12月20日、光と愛の園で高崎アコーディオンサークルの演奏会が行われました。演奏会には、高崎アコーディオンサークルの皆さんが参加し、歌をうたいました。

高崎アコーディオンサークル訪問演奏会



11月15日、高崎市の群馬音楽センターで行われた「五木ひろしチャリティーコンサート」に招待がありました。テレビでしか見られなかった大物歌手のコンサートに大感激でした。

五木ひろしコンサート招待



12月7日、国立のぞみの園文化センターで仙台市の太白ウインドアンサンブルの訪問演奏会が開催されました。演奏会には、仙台市から17名の皆さんが来て下さいました。

太白ウインドアンサンブル訪問演奏会



友愛会保護者懇談会

10月4日、友愛会保護者懇談会が国立のぞみの園文化センターで開催されました。福島県内各地から多くのご家族の出席があり、福島帰還に向けての状況報告や質疑応答が行われました。懇談会中心の行事であるため、面会の時間は短めですが、利用者の皆さんも、毎年この懇談会をとっても楽しみにしています。



編集後記

諸々の事情で秋に予定していた本号の発行がこの時期になってしまいました。財務の情報公開も大分遅れてしまいました。申し訳ありません。ようやく福島県への帰還に向けて目に見える動きが出てきましたので、次号からは利用者の声や工事の進捗状況についてもお伝えできればと考えています。

※掲載した写真については、ご本人からの承諾を得ております。